

出張医学教育FD(長野赤十字病院)

【日時】 平成26年10月27日 17時30分～ 18時00分

【場所】 長野赤十字病院

【参加人数】 65名

【内容】

○卒前クリニカルクラークシップの現状

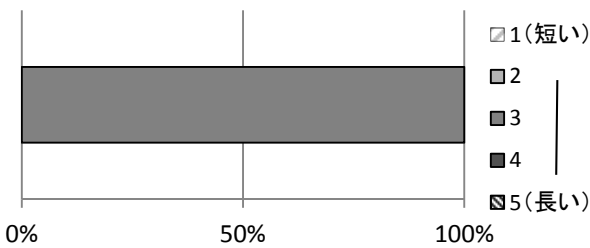
○信州大学における今後の臨床実習

- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について
- ・臨床実習の指導医

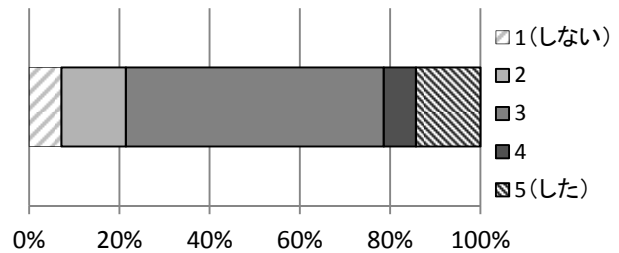
○患者の同意と事故補償



FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見						
目標はわかった。	万が一、医療事故に学生がかかった時の対応。保険の問題でなく、実務的・法的な対応の実際。	移行期なのかもしれないが、初期研修医との兼合いは難しい。現状であれば教育内容が似かよってしまい、どのように差別化を図るか、教える側としては工夫をしなければならず、結構大変だと思う。						
病院に実習に来る学生が増える。学生教育における実習の割合が増える。学生が増える。仕事も増える。だけど、楽しいかもしれない。	学生の社会的資素質。							
信大の新しい実習体制。	具体的になにをやらせて良いのか。							
学生がなぜ病院で実習するかがわかった。	今後の大学の役割について。							
学生研修の意義。	学生の実習のフィードバックの基準は何かありますか？(ほとんどの医師は教育のトレーニングを受けたことがないため)							
英語ができないと世界で通用する医師になれない。	WFMEの認証水準(ここが目標では?)の比較表	この比較表があればより日本の医学教育の何が欠けている(ガラパゴス)のかははっきりすると思います。目標水準ゴールを明確に。卒業時到達点は、現在の初期研修制度1年目終了時のレベル?2年目のレベル?						
150通りの臨床実習の位置づけが理解できた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>例) 現在の医学教育</th> <th>WFME</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実習期間 X年 ×</td> <td>Y</td> </tr> <tr> <td>診療科目 Z ◎</td> <td>M</td> </tr> </tbody> </table>	例) 現在の医学教育	WFME	実習期間 X年 ×	Y	診療科目 Z ◎	M	
例) 現在の医学教育	WFME							
実習期間 X年 ×	Y							
診療科目 Z ◎	M							
すべて理解できた。								
学生実習の実際。								
臨床場面に学生にも参加してもらい、実践力をつける必要がある。								